

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年4月14日(2023.4.14)

【公開番号】特開2021-166585(P2021-166585A)

【公開日】令和3年10月21日(2021.10.21)

【年通号数】公開・登録公報2021-051

【出願番号】特願2020-70439(P2020-70439)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 315 A

A 63 F 7/02 315 Z

【手続補正書】

【提出日】令和5年4月6日(2023.4.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

当たりと判定すると、大当たり遊技を実行可能な遊技制御手段を備える遊技機において、前記遊技制御手段は、

第1判定処理の結果を示す第1識別図柄を変動表示することが可能であり、

第2判定処理の結果を示す第2識別図柄を変動表示することが可能であり、

第1遊技状態、又は前記第1遊技状態よりも入球口に遊技球が入球し易い第2遊技状態、或いは前記第2遊技状態よりも有利な第3遊技状態に制御可能であり、

前記第2遊技状態は、前記第1識別図柄又は前記第2識別図柄の変動表示の回数が所定回数に達すると、前記第1遊技状態に移行するように設定されていて、

前記所定回数は、前記第1識別図柄又は前記第2識別図柄の変動表示の回数が当該所定回数に達することよりも、前記第2遊技状態にて前記第1判定処理又は前記第2判定処理で当たりと判定され易いように、101回以上に設定されていて、

前記第1遊技状態及び前記第2遊技状態は、前記第2判定処理よりも前記第1判定処理により遊技が進行するように設定されていて、

前記第2遊技状態にて前記第1判定処理で当たりと判定された場合には、前記大当たり遊技後に、前記第3遊技状態に移行する確率が前記第3遊技状態以外の遊技状態に移行する確率よりも高くなるように設定されていて、

前記第3遊技状態に移行した場合には、所定確率で、前記第2遊技状態に移行可能に設定されていることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の遊技機は、

当たりと判定すると、大当たり遊技を実行可能な遊技制御手段を備える遊技機において、前記遊技制御手段は、

40

50

第1判定処理の結果を示す第1識別図柄を変動表示することが可能であり、
第2判定処理の結果を示す第2識別図柄を変動表示することが可能であり、
第1遊技状態、又は前記第1遊技状態よりも入球口に遊技球が入球し易い第2遊技状態、
或いは前記第2遊技状態よりも有利な第3遊技状態に制御可能であり、
前記第2遊技状態は、前記第1識別図柄又は前記第2識別図柄の変動表示の回数が所定回数に達すると、前記第1遊技状態に移行するように設定されていて、
前記所定回数は、前記第1識別図柄又は前記第2識別図柄の変動表示の回数が当該所定回数に達することよりも、前記第2遊技状態にて前記第1判定処理又は前記第2判定処理で当たりと判定され易いように、101回以上に設定されていて、

前記第1遊技状態及び前記第2遊技状態は、前記第2判定処理よりも前記第1判定処理により遊技が進行するように設定されていて、

前記第2遊技状態にて前記第1判定処理で当たりと判定された場合には、前記大当たり遊技後に、前記第3遊技状態に移行する確率が前記第3遊技状態以外の遊技状態に移行する確率よりも高くなるように設定されていて、

前記第3遊技状態に移行した場合には、所定確率で、前記第2遊技状態に移行可能に設定されていることを特徴とする遊技機である

10

20

30

40

50